

# 日本フィルハーモニー交響楽団

花開くラフマニノフ！至高の美旋律の饗宴

第231回サンデーコンサート

2020年 5月10日 日

14:30 開演 (13:30ロビー開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre  
14:30, Sunday, May 10th, 2020, at Tokyo Metropolitan Theatre

指揮：アレクサンドル・ラザレフ

[桂冠指揮者兼芸術顧問]

Conductor: Alexander LAZAREV, Conductor Laureate

©平館平



ピアノ：  
横山幸雄

Piano: YOKOYAMA Yukio  
©アルアンフィニ

ラフマニノフ  
パガニーニの主題による  
狂詩曲 op.43

交響曲第2番 ホ短調 op.27

Sergei RACHMANINOV  
Rhapsody on a Theme of Paganini, op.43  
Symphony No.2 in e-minor, op.27

料金（税込）

S席7,000円 A席5,500円 B席5,000円 C席4,000円 Ys席(25歳以下)1,500円 Gs席(65歳以上)4,000円

好評発売中

\*Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。

\*未就学児の入場はご遠慮ください。

\*出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

\*車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

\*車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を

日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

託児サービス（事前申込制・有料） HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた  
電話 (0120) 415-306 (土・日・祝祭日を除く平日、9時から17時まで)  
ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：駐日ロシア連邦大使館 ロシア連邦交流庁 (Rossotrudnichestvo)

お申込み  
お問合せ

日本フィル・サービスセンター TEL(03)5378-5911 [平日10時～17時] FAX(03)5378-6161 (24時間)  
Webサイト [席を選んでお申込みできます] [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp)

チケットぴあ (0570) 02-9999 <https://pia.jp/t/japanphil> Pコード:169-593 e+【イープラス】 <https://eplus.jp/>  
ローソンチケット (0570) 000-407(オペレーター) <https://l-tike.com> Lコード:34318  
東京芸術劇場ボックスオフィス (0570) 010-296 [10時～19時] URL(PC) <http://www.geigeki.jp/t/>

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

創立指揮者 渡辺 晓雄

# 花開くラフマニノフ! 至高の美旋律の饗宴

ラフマニノフの楽曲の特徴は、一度聴いたら忘れられない  
その美しいメロディーです。華やかさの中に哀切さと憧れをはらみ、  
聴く人の胸に迫る魅力に満ちています。  
数あるラフマニノフ美メロの中でも1,2を争うのが  
この《パガニーニの主題による狂詩曲》第18変奏と、  
《交響曲第2番》第3楽章でしょう。  
ドラマやフィギュアスケートにも取り上げられ、  
日本だけでなく世界中で愛されている至高のメロディーです。  
ロシア作品の演奏にかけては並ぶものないラザレフの指揮のもと、  
ピアニストにはラザレフが賛辞する日本を代表する実力派・横山幸雄を迎え、  
日本フィルがラフマニノフの魅力のすべてをお届けする、  
初夏の大輪の花束のようなスペシャルなコンサートです。

©山口敦



## アレクサンドル・ラザレフ [桂冠指揮者兼芸術顧問] Alexander LAZAREV, Conductor Laureate

ロシアを代表する指揮者の一人。2016年9月より桂冠指揮者兼芸術顧問。2008年9月から8年にわたり日本フィル首席指揮者を務め、3年に渡る「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」では、1秒たりとも無駄にしない徹底したリハーサルで演奏水準を引き上げ、「ラザレフ効果」と評された。2011年9月から5年間の契約を延長し、「ラザレフが刻むロシアの魂」をスタート。「Season I ラフマニノフ」では、初回から作曲家の人文性にまで深く迫っていく解釈と、妥協なくその解釈を表現させる演奏で会場を熱狂させ、歴史的な作品の評価までをも変える名演となった。続く「Season II スクリヤービン」では、日本人には馴染みの薄いスクリヤービンの独特的な色彩的・神秘的な世界を分かりやすくダイナミックに提

示して話題を集め、2年にわたる「Season III ショスタコーヴィチ」では緻密かつ圧倒的な演奏で会場を熱狂させた。現在は「Season IV グラズノフ」を展開中。モスクワ音楽院でL.ギンズブルグに師事、同音楽院を首席で卒業。数々のコンクールを制し、1987年から1995年にかけてボリショイ劇場の首席指揮者兼芸術監督を務め、黄金時代を築いた。数多くのCDをリリースしており、ボリショイ管、BBC響、ロンドン・フィル、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管等との録音があり、日本フィルとは就任以来合計19枚のディスクをリリースしている。



©アルアンフィニ

## 横山幸雄 [ピアノ] YOKOYAMA Yukio, Piano

1990年、ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与。2010年、「ショパン・ピアノ独奏曲全166曲コンサート」を行い、ギネス世界記録に認定され、翌年「212曲」を演奏して記録を更新。2015年、ラヴェル生誕140年を記念し、パリでラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会を開催。2018年にはムストホン指揮ノヴォシビルスク交響楽団、ライブツイヒにてゲヴァントハウス弦楽四重奏団との共演や、ポーランド国内でのリサイタル、上海フィル定期公演への登場、2019年3月にはルイージ指揮デンマーク国立交響楽団と共に海外での活躍も多い。CDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。最新CDは「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 / 他」(共演:下野竜也指揮/新日本フィル)、「パデレフスキピアノ名曲集」、「ドビュッシー:前奏曲第1集・第2集(全24曲)」。日本パデレフスキ協会会长、名古屋芸術大学特別客員教授、エリザベト音楽大学客員教授。オフィシャル・ホームページ <http://yokoyamayukio.net/>

## アレクサンドル・ラザレフ公演 第720回東京定期演奏会

発売中

2020年5月15日(金)19:00

16日(土)14:00

サントリーホール

指揮:アレクサンドル・ラザレフ [桂冠指揮者兼芸術顧問]

ピアノ:小川典子

アレコ:ニコライ・エフレーモフ 老人:妻屋秀和

若いジプシー:大槻孝志

ジプシーの老女:山下牧子

ゼムフィーラ:安藤赴美子

合唱:東京音楽大学

ラフマニノフ:

ピアノ協奏曲第1番 嬰ヘ短調

ラフマニノフ:

歌劇《アレコ》(演奏会形式/字幕付)

S席 8,000円 A席 6,500円 B席 6,000円 C席 完売 P席 4,000円 Ys席(25歳以下) 1,500円